



成果報告書

❖事業名

「0歳～3歳児とその親との愛着を深める
アート・ふれあい・交流事業」

❖目的

将来生きる力となる好奇心、共感力、協調性、コミュニケーション力といった数値では測れない「非認知能力」を育み、身につける最適な時期は、乳幼児期であることに着目した事業。乳幼児とその親・家庭を対象に、乳幼児の驚くような成長発達の発見と、親子の愛着形成につながるアートやふれあいやあそび、交流やワーク等を、行政や子育て支援拠点と連携して実施する。

❖参加数：288人（乳幼児119人 大人169人）

❖実施場所：10か所

- ① コミュニティー長柄 8/13（木）
大沢愛 わらべうたあそび
- ② 市川市 新浜親子つどいのひろば 9/16（水）
川中 美樹「ゆったりのんびりわらべうたあそび」
- ③ 横芝光町 子育て支援センター横芝 10/27（火）
納富俊郎 人形劇「にこにこげきじょう」
- ④ 茂原市 保健センター 11/4（木）
大沢愛 わらべうたあそび
- ⑤ 市原市 国分寺公民館 11/10（火）
大沢愛 わらべうたあそび
- ⑥ 認定こども園四街道さつき幼稚園 11/18（水）
川中 美樹「ゆったりのんびりわらべうた」
- ⑦ 千葉市小中台公民館 12/3（木）
大沢愛 わらべうたあそび
- ⑧ 松戸市 おやこDE広場北小金 12/24（木）
大沢愛 わらべうたあそび
- ⑨ 君津市 八重原中央公民館 12/26（土）
歌子さん 「歌子さんのはじめてのコンサート」
- ⑩ 子育て支援ステーションニッセ 3/21（日）
歌子さん 「歌子さんのはじめてのコンサート」



ごあいさつ

平成30年4月に幼稚園指導要領、保育所保育指針、認定子ども園教育・保育要領が改正され「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確化されました。①自立心 ②協同性 ③道徳性・規範意識の芽生え ④社会生活との関わりの4つの領域は「人間関係」で、他者と関わることでの「非認知能力」の育成が推進されています。0～2歳児は、食事や睡眠、排泄のケアはもちろん重要ですが、目標に向かって頑張る力、人とうまく関わる力、感情をコントロールする力など非認知能力の基礎が育つ時期でもあり、「学びの芽生え」が見られる時期です。人との関わりの質も重要であることから、よりいっそうの配慮が望まれているのです。

ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマン博士が、2013年に行った「ペリー就学前計画の調査」の提言では「教育の投資効果は就学前教育が決め手である、子どもの非認知的な力の発達が成人期によりよい状態をもたらす」をきっかけに、今また幼児教育の重要性が世界中で注目されています。その内容は、1960年代に開始された幼児教育研究を追跡調査した結果、優れた幼児教育は社会全体の利益につながるというものです。

非認知能力の発達を底支えし土台になる基本的信頼感を形成するために、親や保育者とのアタッチメント（愛着）が重要であることも強調されています。日本ではアタッチメントは「愛着」とか“くっつく”と訳されています。精神科医で臨床心理士のボウルヴィーのアタッチメント理論では、「安心の輪」「安心な避難場所」「心のよりどころ」と言われ、「心の中にしっかりした輪ができれば、多少のことがあっても乗り越えていけるよ！」ということです。

この事業では乳幼児期の非認知能力を育むとともに、成長発達の発見と、親子の愛着形成につながるアートやふれあいあそびを実施いたしました。貴機構より頂いた助成金に感謝し、有効に活用いたしました。今後とも乳幼児期への支援を力強く後押し頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター 理事長 宇野京子



Contents

事業の目的 実施概要 成果と課題	2P～4P
アンケート 自由記述 分析	5P～9P
コロナ感染防止対策ガイドライン	10P
ポスター・10か所の実施内容	11P～21P

1. 事業名：0歳児～3歳児とその親との愛着を深めるアート・ふれあい・交流事業

2. 事業の目的

将来生きる力となる好奇心、共感力、協調性、コミュニケーション力といった数値では測れない「非認知能力」を育み、身につける最適な時期は、乳幼児期であることに着目した事業。乳幼児とその親・家庭を対象に、乳幼児の驚くような成長発達の発見と、親子の愛着形成につながるアートやふれあいやあそび、交流やワーク等を、行政や子育て支援拠点と連携して実施する。

3. 事業実施の経過と実施内容

- ・予定の10か所の実施先が決まり、2021年3月21日までに、10か所の実施を終えた。コロナ感染拡大で延期を余儀なくされ、年度末ギリギリでの実施となった。
- ・コロナ禍の中、三密 換気に気をつけ、施設のガイドラインの基、通常定員の半分、または4～5組の親子の参加にとどめての実施となった。スタッフ・パフォーマーとも、手洗い・マスク等基本的な感染防止対策はもちろんのこと、実施14日前からの健康チェックをして実施に臨んだ。

■事業実績

	実施施設	実施日時	パフォーマー	参加者数 288人(乳幼児119人・大人169人)
1	長柄町 コミュニティ長柄	8/13(木) 10:00～11:00	わらべうたあそび 「うたとおはなしのじかん」 大沢 愛	乳幼児18人 大人22人
2	市川市 新浜親子つどいの広場	9/16(水) 10:30～11:15 14:00～14:45	「ゆったりのにびり わらべうたあそび」 川中 美樹	乳幼児12人 大人19人
3	横芝光町 子育て支援センター横芝	10/27(火) 10:20～11:00	「にこにこげきじょう」 納富俊郎・納富祥子	乳幼児22人 大人25人
4	茂原市 茂原市保健センター	11/4(木) 10:00～12:10	わらべうたあそび 「うたとおはなしのじかん」 大沢 愛	乳幼児20人 大人23人
5	市原市 国分寺公民館	11/10(火) 10:00～10:40	わらべうたあそび 「うたとおはなしのじかん」 大沢 愛	乳幼児2人 大人12人
6	四街道市 認定こども園四街道さつき幼稚園	11/18(水) 10:20～11:00	「ゆったりのにびりわらべうた」川中 美樹	乳幼児5人 大人10人
7	千葉市 小中台公民館	12/3(木) 10:00～10:40 11:00～11:40	わらべうたあそび 「うたとおはなしのじかん」 大沢 愛	乳幼児12人 大人17人
8	松戸市 おやこDE広場北小金	12/24(木) 13:00～13:40	わらべうたあそび 「うたとおはなしのじかん」 大沢 愛	乳幼児4人 大人8人
9	君津市 八重原公民館	12/26(土) 10:30～11:15	「歌子さんのはじめてのコンサート」 歌子さん ぴんたろー	乳幼児7人 大人13人
10	千葉市 子育て支援ステーション ニッセ	3/21(日) 10:15～11:00 13:15～14:00	「歌子さんのはじめてのコンサート」 歌子さん ぴんたろー	乳幼児17人 大人20人

3. 実施体制

①「乳幼児プロジェクト」をコーディネーター10名で構成

宇野京子 大森智恵子 買場都明 椎名好子 鈴木佳子 滝口淳子 中川香子 中村雪江 中村幸恵
白鳥みゆき

② 実施当日体制 コーディネーター2名、スタッフ2名

4. 「乳幼児プロジェクト」会議実績

第1回乳幼児プロジェクト会議

日時：4月7日(火) 13:00～14:00 事務所
参加者：宇野 大森 買場 椎名 鈴木
滝口 中川 中村雪 中村幸 白鳥
会議内容：目的確認 事業評価の指標を確認

第3回乳幼児プロジェクト会議

日時：10月25日(日) 16:00～17:00 事務所
参加者：宇野 大森 買場 椎名 鈴木
滝口 中川 中村雪 中村幸 白鳥
会議内容：進捗確認 課題解決

第2回乳幼児プロジェクト会議

日時：6月1日(月) 13:00～14:00 事務所
参加者：宇野 大森 買場 椎名 鈴木
滝口 中川 中村雪 中村幸 白鳥
会議内容：進捗確認 課題解決

第4回乳幼児プロジェクト会議

日時：2月25日(木) 10:00～11:00 事務所
参加者：宇野 大森 買場 椎名 鈴木
滝口 中川 中村雪 中村幸 白鳥
会議内容：事業のまとめ 実績報告書について

5. 成果と課題

- 1 コロナ禍の中で予定の10か所での実施が実現し、参加者数288人(乳幼児119人 大人169人)だった。乳幼児119人のうち、7カ月以上3歳までが115人で全体の96%を占め、乳幼児対象者を絞って実施できた。
- 2 乳幼児を研究し尽くして創られたプロのパフォーマーによる6作品を提供し、うち4作品が実施できた。どの作品もクオリティが高く、はじめて出会うプロのワークを笑顔いっぱい楽しんだ。
- 3 保護者(88人)、施設職員・行政・コーディネーター(43人)のアンケート(複数回答)や自由記述からカテゴリーに分け整理して分析した。以下、客観的な分析結果から「プロによる芸術的アプローチのプログラムは、乳幼児の成長発達と、親子の愛着形成につながる子育て支援として有効であり期待できる」ということが示唆された。

<アンケートから>

- 参加した保護者の実感⇒ 95%が実感的に高く評価し、5%が疲労感を感じた。
楽しかった69%・癒された69%・うれしかった27%・安心できた21%・ほっとした32%。疲れた2%
・気が気でなかった3%
- 保護者が実感する子どもの表情⇒積極的な参加の実感94%、消極的な参加は6%。
よく笑っていた33%・じっとみていた78%・あきたようだ6%・まねをしていた13%・みとれていた18%・興味をもった44%・普段みられないような動きをした1%
- ワークショップへの参加意欲や期待⇒またみたい・子どもにみせたい98%以上。高い期待感がある。

<自由記述から>

- 親からは、わが子のワークへの積極的な反応や笑顔などの発見や気づきの記述、親自身のための有意義な時間になったことや子育てへの勉強になったことやおもしろさや喜びの記述が多くされている。一方子どもがぐずって退室した親、迷惑をかけたとアンケートに書いた親の記述、周りを気にして気持ちが不安定になった記述もあった。
- 施設職員・行政・コーディネーターからは、アートに反応する乳幼児の姿を驚きと感動をもって受け止めている記述、親子の応答的な関りからの愛着形成へつながる実感の記述、子どもの成長発達の記述、プロの作品の力・芸術力が親の遊びのスキルを上げ親の子育て力向上になるとの記述、施設での保育に活かせることの記述、課題や留意点の記述、コロナ禍ならではの記述もあった。

- 4 「乳幼児期の育ちの大切さ」について、たくさんの方々と話をする機会を得た。54市町村の子育て支援課、支援施設、子育て関係者の方々にたくさん語り、私たちの願いや、事業の趣旨への理解や賛同を得て、「共感のネットワーク」を拡げることができた。
- 5 課題は、乳幼児を持つ保護者の現状の丁寧なヒアリングをすること、当日不安定な親子への接し方について、どのような支援や姿勢が望ましいのかを、コーディネーターやスタッフで研鑽し続ける。
- 6 0歳～3歳児の成長発達、親子の愛着を深めるために、芸術的なアプローチによる子育て支援の有効性をどの会場でも実感している。コロナ禍だからこそ、親子や親同士が触れ合う場の継続が求められている。

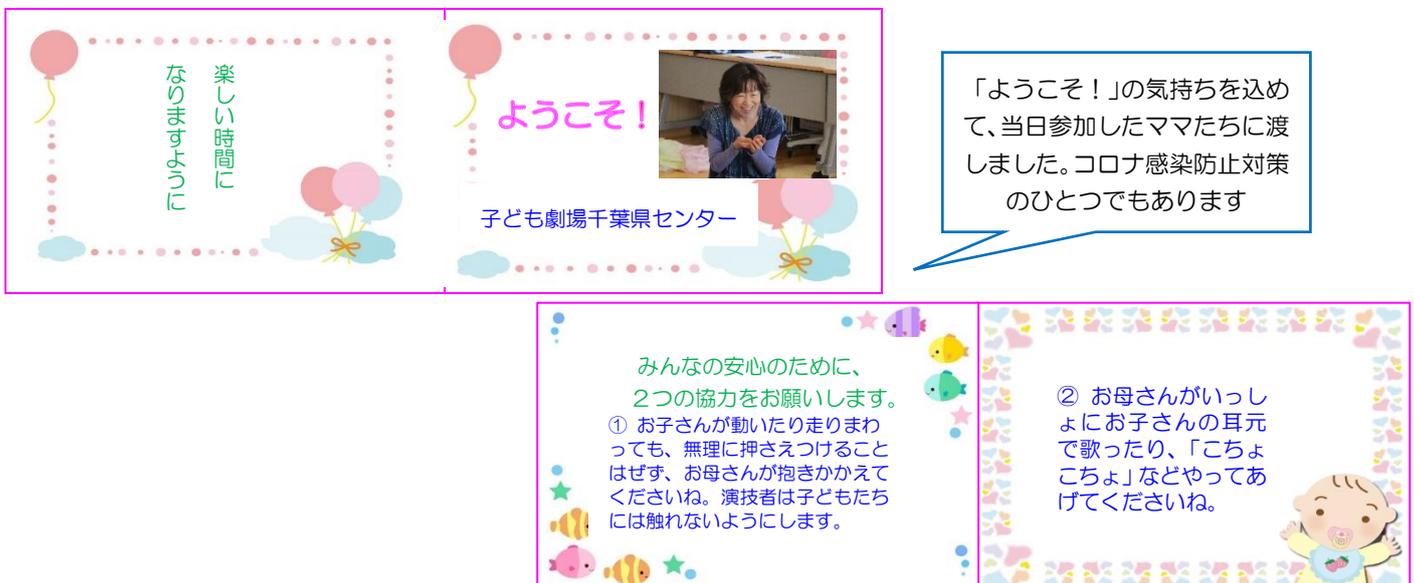
<実施をしていく上で大事にしたこと>

●信頼関係があつてこそその実施

プロのパフォーマーや作品への信頼、行政・実施団体施設とは直接訪問し、よく聴き、よく説明し、誠実に丁寧な対応する。特に今年度はコロナ感染防止対策の徹底等、安心安全の保証への信頼。

●コーディネーターの資質向上

実施施設とパフォーマーをつないで一番ベストな調整に努めるのはコーディネーター。子ども劇場千葉県センターにいる10人のコーディネーターは、研鑽し合いさらなる専門性を身につけていく。



楽しい時間に
なすはらちゃん

ようこそ!
子ども劇場千葉県センター

「ようこそ!」の気持ちを込めて、当日参加したママたちに渡しました。コロナ感染防止対策のひとつでもあります

みんなの安心のために、
2つの協力をお願いします。
① お子さんが動いたり走りまわっても、無理に押さえつけないで、お母さんが抱きかかえてください。演技者は子どもたちには触れないようにします。

② お母さんがいっしょにお子さんの耳元で歌ったり、「こちょこちょ」などやってあげてくださいね。

6 アンケートから

POSC
一般社団法人パチンコパチスロ社会貢献機構

「0歳～3歳児とその親との愛着を深める
アート・ふれあい・交流事業」

アンケートデータによる報告

～実施内容～

2021年3月21日までに終了した10カ所

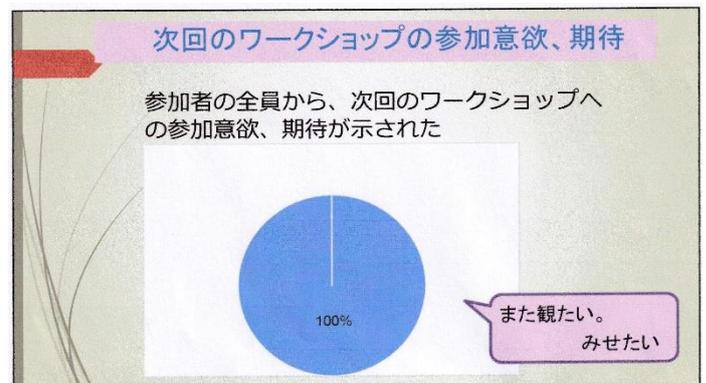
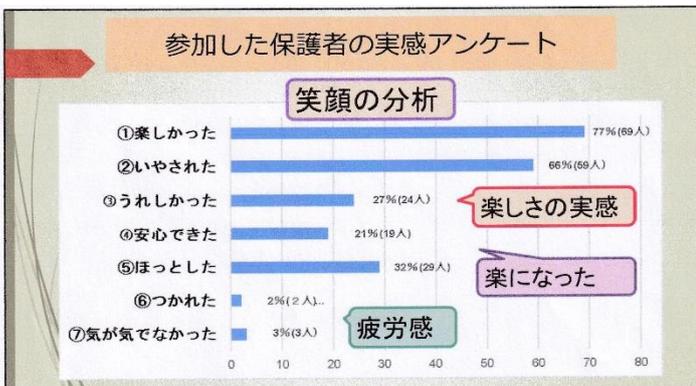
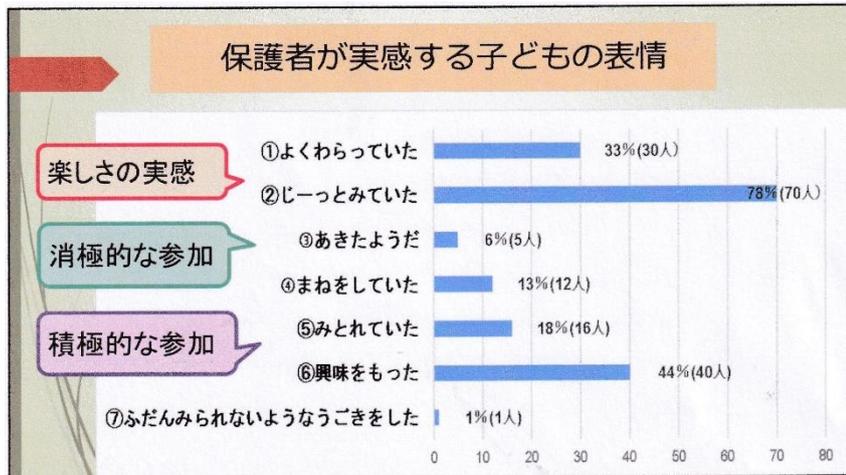
- 参加人数：288人
内訳：保護者 120人 子ども 119人
施設職員・行政・コーディネーター 49人
- 子どもの年齢：0～6か月(25人)・7～12か月(37人)
1才(26人)・2才(27人)・3才以上(4人)
- 保護者用アンケート記載者：母親 88人 父親 2人

0か月以上3歳児が全体の96%を占める

ワークショップの講師と内容

歌と楽器体験
歌子さん「歌子さんのはじめてのコンサート」
わらべうた
川中美樹さん「ゆったりのんびりわらべうた」
大沢 愛さん「わらべうたあそび」
人形劇
納富俊郎さん「にここ劇場」

参加型のワークショップ



2020 年度パチンコ・パチスロ事業保護者アンケート「自由記述欄」の回答の分類（書いた人：親 88 人）

	【カテゴリー】	<自由記述>
一母親が実感する我が子への積極的な反応	①あそびを五感で受け止め笑顔になる活発な反応	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は見せない表情をしていた。 ・よく笑う。まねしたいことはすぐまねする。 ・トンボの歌の時、指の動きをまねしていて、おどろいた。 ・音が聞こえるとリズムをとって、体をゆらしたり、目を向けていました。 ・ミルクの時間でぐずりはじめていたのですが、動く手にすごく興味をもって泣きやんでました。 ・よく動きを見ていた ・遠い所は、まだ目で追えていなそうだった。うたが好きそう。 ・ママの手遊びに、自分の手を一緒にしてきた。 ・丸い月を目で追っていた。 ・じ〜と見とれてニコニコとしていたのがうれしかったです。 ・1才11か月の長男が先生のしぐさをすぐにまねていておどろきました。 ・よくわらう。 ・まねをするようになった。ゆったりした歌でいやされたのか、眠そうになっていました。 ・抱っこして歌うと安心した様子だった ・歌が始まった瞬間ずっと注目してびっくりした ・名前を呼ばれてニコニコして自分の名前がわかっているのかなと思った ・「かごかご〜」は思わず眠くなってしまったようでした ・たいこに合わせて足をぴよんぴよんさせていた。 ・不思議そうに凝視していた。 赤ちゃんも目がキラキラしていた。
	②周りの人に関わり、ふれ合おうとする芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・ママの手を見たり、目を追っていた。興味を持ったような感じで笑顔になった。 ・ふだんは人見知りが多いけど、「ばあ〜」とされて喜んでた。 ・お昼寝を全然してなくて、途中で眠くならないか心配でしたが、興味を持って楽しんでた。 ・周りが気になる。よく観察している。他の子の様子が気になるようだった。 ・音の鳴った方をじーっと見る。他の子どもたちに興味を持っていた。 ・人見知りが、あまりない。 他の子に興味津々だった。 ・おひるね前だが、キゲンが良かった。 ・人見知りが始まっていたが、遊んでもらって楽しくて泣きませんでした。 ・家族以外の人でも良く見て笑っていた。音によく反応していた。 ・他の子にも興味をもっていた。 ・目をたくさん合わせることができた。 ・大人の声も表情もよく見ていると改めて感じた。 ・同じくらいの子にとっても興味を持っていました ・ぴんたろうさんに慣れてきた
	③興味深く注視する力	<ul style="list-style-type: none"> ・眠い時間だったけれど、泣かずに興味を持っていた。 ・ウサギはじっと見てました ・歌が聞こえると、とても集中する ・じーっとしんけんに見ていた。 ・耳を澄ます動作が見られた。 ・普段落ち着きのない子ですが、興味を持って見られました。（最後の方はさすがに飽きてしまいましたが） ・歌を歌うと、興味があるのか、顔をじーっと見る。 ・音を出すことに興味があった。
	④不安定な子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・あきた感じもあったが、大泣きはせず我慢できた。 ・ちょっと集中ができてなかったようで引きつづき様子を見ていこうと思います ・お騒がせしてすみませんでした ・最近抱っこしても力づくで降りようとして、わらべうたを満喫できなかったのが残念です。
母親自身のポジティブな実感	①子育ての面白さ・喜び	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳の妹がこんなに集中しているのはめずらしかった。 ・娘は興味津々、息子はおそろおそろよく観察して楽器にさわっていた。 ・6カ月の下の子はすっかり安心して眠ってしまった。
	②自分自身のための有意義な時間	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたにふれあう機会があまりないので、よい時間を過ごせました!! ・最近きかなくなった“わらべうた”を聞いて、私自身、とてもいやされました ・「わらべ歌」と「癒し」がリンクするものだと知りませんでした。 ・歌声がとてもやさしくてうれしく癒された。 ・久しぶりにお友達に会えてリフレッシュできた。 ・歌声に涙がでた。
	③家に帰ってからのあそびの継続	<ul style="list-style-type: none"> ・手を触れるのを今日からやってみようと思いました。 ・まねしたいと思いましたが、覚えていられるか。頑張ります。 ・兄弟がいるので、子供達とあそびたいと思います。 ・家でもやってみたいと思います。兄にもスキンシップとしてやってみたいです。
	④子育ての軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・4カ月の次男をずっとあやしていただき、長男とのあそびに集中できました。ありがとうございます。 ・いつもは長女の遊びに付き合わせる事が多く、次女との2人の時間がとれて嬉しかったです
	⑤企画への感謝	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク無しで、参加できるようになる日が早く決まるとして下さってありがたいです。 ・すてきな時間を過ごせました。ありがとうございます。 ・貴重な経験をできました! ・コロナの面でもご配慮下さり安心して参加できました。 ・大変な状況にもコンサートを開いてくれて感謝します ・0歳から参加できるイベントは貴重なので、今後も機会があれば参加したいです ・子供がもっと自由に楽器にふれられると良かったです。(コロナ問題で難しいかな?) ・めずらしい楽器に触れる機会がなかなかないのでありがたい。 ・音楽に包まれる体験、体全体で感じる体験を親子で楽しめた。素敵な時間だった。
	⑥子育ての勉強	<ul style="list-style-type: none"> ・家では、おもちゃで遊ぶばかりだったが、わらべうたもまだ必要な年齢なんだと思った。 ・わらべうたの他に育児の話もあり、とても勉強になりました。コロナでこのような機会が全くないので大変ありがたかったです ・いろいろな遊びを教えて頂きて、勉強になりました
	⑦今後のワークへの期待	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のようなイベントを定期的に開催してほしいと思いました。 ・人形劇を見せてあげられる機会はあまりないのでこんなに近くで子どもと見れてとても良い時間でした。これからもぜひこの活動を続けてください。 ・初めてのイベントでしたが楽しめました。 ・ぜひぜひ定期的に続けてください。

	【カテゴリー】	<自由記述>
㊦ 遊びに反応する子どもの姿	①あそびを五感で受け止め笑顔になる活発な反応	<ul style="list-style-type: none"> ・人見知りや、とても強く、緊張している様子がみられていました ・驚きや興味、はずかしさ、楽しさ…など、様々な表情を感じました。 ・大人の声のトーン、変化に応じ、子どもの表情が変化するのを感じました。 ・はずかしながらも興味をもち、引きつけられている姿に、月齢をとわず、楽しんでいると感じる。 ・はじめは音に興味を持つ姿があり、リズムに合わせて、大人が体をゆらすうちに、心地良かったのか、入眠する姿がみられました。 ・座りながらのわらべうたは、大人にぴったりとくっつき安心した表情がみられたが、ジャンプをしたり、立って抱っこしながらのわらべうたでは、嬉しそうな表情や笑い声も聴かれた。 ・子どもそれぞれに違う反応があり、その子が好きなわらべうただと笑顔がみられた。 ・養育者とボディタッチや体を触れている時に多く笑顔がみえていました。養育者が子どもたちの目をみて体を動かすと楽しそうな表情をしていました。 ・児の身体をくすぐるなど、スキンシップを取ることができる歌が多く、スキンシップを取ると、児の表情が柔らかくなったように感じました。歌を通して、短時間で児の緊張をほぐすことができると知り、児が声を出して笑っている姿をみることができました。 ・大人が笑うと子どもたちも笑いがみられた。声や雰囲気、子どもたちの表情は変化していた。こういう動作や動きが好きなんだと発見できた。表情豊かに気持ちを表現していた。・お母さんを見つめる、スタッフを見つめる眼差しが可愛かった。アイコンタクト。 ・歌が始まったらぐずっていた子もピタッと止まっていた ・とても穏やかだった。・音の響きを体で体験でき、何度も繰り返してあそんでいた。
	②周りの人に関わり、ふれあおうとするコミュニケーションの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・養育者の膝の上で上下に動く笑顔がみられ、終わるともってやって欲しいと自分の身体を上下に動かす姿がみられる。 ・一対一で子どもがじっと見つめ返す時間は、仕事ではほとんどないので貴重な時間でした。好きな動作では、声を出して笑い、「もう1回」とリクエストし笑顔がたくさんみられた。 ・母と視線が合うと笑い、声も出ていた。 ・先生が移動すると目で追ったり、追いかける様子があった。 ・母の手の動きに興味を持ち、目で追っている子もいた。
	③興味深く注視する力	<ul style="list-style-type: none"> ・心地良い歌声に反応してじっと集中して見ていた。お母さんと対面して笑顔で楽しんでいる。 ・初めは、「何するんだろう」とふしぎな表情がみられた。周りの子どもや大人の表情を観察する姿がみられた。おとなの所作 ・声にじっと耳を傾け、目を見ていることに感動。 ・泣く子がいなかったのは、心地よさの現われかとも思う。 ・川中さんの方を真剣に観ている子どもの表情がよかったです。
㊧ 親子の様子 乳幼児の成長発達	① 親子の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・なごやかで楽しそうでした。・ママ自身も楽しく劇を見ていた。 ・自分たちの子育てを楽しもうとする思いと、少しでも良い環境を子どもに与えてやりたいという親の思いがみて取れたような気がした。 ・お子さんが反応したり、笑顔になったりする様子が嬉しそうでした。・芸術の素晴らしさに触れ、癒されたという感想がきかれた。 ・お母さん自身もゆったりとした雰囲気を楽しんでいるようでした。子どもの反応が良いとママも嬉しく、ママの表情もやわらかく、そんな様子でした。 ・ママ達はゆったりとした雰囲気の中、赤ちゃんをわらべうたを楽しんでいる感じでした。 ・赤ちゃんがママのわらべうたに反応するとママもとても嬉しそうでした。 ・お母さん同士の交流もあり、つどいの広場を楽しんでいる様子だった ・穏やかな笑顔で見ており、子どもにも優しく語りかけている姿がみられた。 ・音楽に合わせて、お子さんと一緒に体をゆらしたりと、リラックスしていた。 ・普段お会いする時よりも明るい表情で子どもにも笑顔で接する様子が帰りの際に見られた。 ・マスクで見えないのが、やはり残念だったが、感想をきくと、親子をつなぐツールだなあと思った。 ・子どもに教えたい、またやってみたいというおもいでかかれていた ・集中できない子の親は人形劇を見ず、子どものあとを追っていた。 ・月齢によっては、丁度、探索が楽しい時期の子もおり動いてしまうことを心配している方や気を使って退室した親もいた。

Ⅱ 親子の愛着形成プロの芸術力	②乳幼児の成長発達の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒を豊かにし遊びを通して、見る、聞く、しぐさを覚える。手足を使うことで運動機能の向上につながる。 ・音で感じる興味、視覚で感じる興味が、子どもの成長発達を促す。 ・月齢により、興味、発達に合わせ、関わりを行っていると感じた。 ・わらべうたを通して、リズム感や歌詞のなかから言語発達の促進を促すことができる。指を動かしたり、ジャンプをしたり、指先の発達や身体の促進に繋がる。優しい音色なため、心や脳にリラックスや安心感を与え、様々な発達促進に繋がる。 ・聞く力、見る力、集中力が養われる。歌あそびや、やわらかい歌い方で動作が穏やかになる。 ・歌を歌いながら行うことで視覚、聴覚、触覚がそれぞれ養われている ・発言に遅れがあったとしても大人が言葉をたくさんかけることで発達を促すことができる。 ・スキンシップが大切な時期、たくさんスキンシップができた。・情緒の安定につながる ・相手を見る、真似することによってコミュニケーション力を育てる土台となる。 ・真似て発声することで言葉の発達に繋がる。わらべうたは歌と動作がセットになっていて、歌いながら身体を動かすことにより二つのことを同時に行う力をつける。 ・名前を呼び、「はい」と言うことや、手を動かす活動では、真似をする子や、今、真似をしなくても覚えていき、真似をする子が増えると感じた。今の時期の子への効果は強いと思いました。 ・わらべうたがどのような効果があるのか、若いお母さんに納得できるよう、楽しめるように説明があった。 ・口の動きの発達を促す効果もある、「うーん」や、「あー」や、「れえろろ」や身体の動きを促す観点から「てんこてんこ」など、発達の段階に応じて色々あそびにも意味があることを知ることができました。 ・成長発達をふまえる大切さを改めて感じた。楽しみながら成長を促せるわらべうたは、奥が深いと感じた。 ・1対1でやるわらべうたは信頼感が芽生え、関わろうとする力が身に付くのではないかと。 ・複数でやると社会性が身に付き、集団生活への期待が持てるようになるのではないかと。 ・目で見ると、音や声をきくことで刺激を受け、非認知能力の発達につながっていく。 ・0歳～1歳児は、ママ・パパが安心してみていると子どももゆったり落ち着いて見ている。 ・2～3歳児は動きも安定してきて、体全体で音楽をたのしめていた。ジャンプしたり、興味ある楽器に自ら触りに行ったり、音を出したりしている。
	③親子の愛着形成の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で1対1のぬくもりを感じ、信頼関係につながる。 ・スキンシップを行いながら、お互いが心地良く、楽しく関われる。子どもだけではなく、大人も心地良く、楽しく過ごすことができる。 ・穏やかにわらべうたや手遊びを通して関わることにより互いに落ち着いて愛着形成ができる。 ・児は大人の優しい歌声に安心し、落ち着き、穏やかな関わりができる。 ・しっかり身体を密着し、目と目で向きあえ、手と手で触れあうことができ、効果があると思う。 ・養育者(親)がリラックスし、子どもも安心感が感じられた。 ・人見知りなどで不安そうな表情をしていた子どもたちも養育者が笑顔で向き合うとご機嫌になる ・上手にできるとほめてくれたり喜んだ表情を向けてくれることで愛着が形成される。 ・お母さんの笑顔にお子さんも笑顔になり、そのお子さんの笑顔を見てまたお母さんが笑顔になる、その相乗効果が心と心をつなぐ愛着形成になる。 ・自分の子どものように接していいか悩んでいる方もいると思うので、このようなふれあい遊びをどうして行うのかという理由から教わる機会はとても大切 ・子どもが笑顔になると母親も笑顔となり、親子で楽しい時間を共有することができていた。 ・日々の生活に追われている中、ゆっくり子どもと向き合う時間もないので、子どもと楽しんだり、心地よく気持ちの切り替えができると、より愛着も深まる。 ・ご夫婦での参加が多く、とてもリラックスして、笑い声もあがっていた。 ・パフォーマーの生の言葉かけが、親の喜びにつながっていいからいい。 ・パフォーマーの声掛けのひとつひとつが、参加したママ・パパを大切にしてくださった。その言葉に気づかされたママ・パパも多かったのではないかと。 ・ママ・パパのお膝から離れたり、また戻ったり愛着形成がしっかりなされた親子が多いと思った。

	<p>④プロの芸術力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな語りかけのなか、子どもの興味、関心を引き出せるのだと発見しました。 ・声のトーン、発声、様々な変化に、子どもだけではなく、大人も引きつけられた。 ・発声だけではなく、指先から、細かな表現をされていて、耳だけではなく視覚からも興味を持つことができた ・子ども達も集中して聞ける環境づくりがすごいと感じました。 ・話をする時にも静かな声と大きな声で子ども一人ひとり聞き入っていた。 ・一つひとつの動きをする時、一人ひとりの目を見て話していることに気づいた。 ・体を動かす時は楽しそうな声で、話をする時は、聞けるよう小さい声で、動と静をつかって私達ちも、見習っていかなければいけないと感じた。 ・歌う際の表情も豊かにすることで、児を惹きつけていると感じました。目を大きく開き、児に語りかけるようにしていると感じたので、目を意識して行いたいと思った。 ・身体を大きく動かすことで、児と共に楽しむことができるので、日々の養育に生かせるようにしていきたいと思った ・子どもたちの興味が一気に集まっていてびっくりした。歌から、世界がうかんできた ・お月見の時のあのわずかな時間の驚きにプロの技をみた気がする。大きな音で気を引くのではなく、静けさの中で活かされる技はまさにアーティスト。 ・さらに利用者への入室から始まる細かい気配り、その度々利用者の動きを正確にキャッチしてその日のプログラムを瞬時に見直す。そうしたこともプロなのだと考えさせられた。 ・素晴らしい動き、声の巾に感銘を受けました。・語りかけのトーンの強弱、声のひびきにとっても引きちけられた ・やっぱり、いいな！！ ・所作の美しさに感動！ 知識の深さに感動！ やさしさに感動！ ・泣いて室内に居られなかった親子に対して、パフォーマーのやさしく共感的な声掛けに感動した。 ・透き通る歌声に心が洗われ、涙が流れてきた。歌の力はすごい！ ・不思議な楽器、まるで生きているかのように動かし、奏でる力はさすがプロです。素晴らしい世界をこの年代の親子がみることができ本当によかった。
--	----------------	---

<p>Ⅲ 保育士として ・施設で活かせること</p>	<p>⑤専門職としての気づきや学び。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの手を大人がとってやるということをしてしまいがち、子どもたちがやりたいと興味を持ち、自ら手を出してやるのが大切だと気づいた。 ・わらべうたは赤ちゃんのあそびだと思っているお母さんもいるようでした。 ・普段、本日参加の親子と一緒に過ごし、歌あそび、触れ合い遊び、ペープサート等で演じ親子の触れ合いをねらいとし計画して進めているので 身近なものでの人形等の用意や、声のトーン、音楽の効果等全てにおいて大変参考になった。 ・今の時代便利すぎてテレビ携帯で子育てする人が多いのでわらべ歌をもっともっとも〜っと広めてほしいです。 ・川中さん 自身がわらべうたを楽しんでいて伝えていこうとする姿に感動しました。あまりに無知すぎて、会があつという間に終わってしまって疑問に感じるまでもいきませんでした。まずは本を読むところから始めて学んでいきたい。 ・ウィズコロナの観点で考えると、触れる難しさ、マスクの扱いなど問題は山積みだと感じました。しかし、絶対に発育には欠かせない物だと仕事をしていても痛感することなので、考えていかなければいけない問題だと思いました。 ・ひろばの中でもこのような静かな時間があるとよいのかも・・・ ・おもちゃをもってきていて集中できない残念な場面があった。 ・当日を迎えるまでの入念な打ち合わせと、準備がしっかりされていて素晴らしい。感染対策も最大限されていたので、利用者側も安心できた。
	<p>⑥施設に取り入れていきたいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の施設の保育や養育のなかにわらべうたをとり入れていきたい。複数あり ・児の興味をひきつけることができる表現力を身につけることで、またやりたいという児の気持ちを尊重し、養育に取り入れていきたい ・行政であり、なかなかできることが限られている状況ですが、今後の参考とする。 ・保育の中でも生かしていけることがたくさんあり、勉強にもなった。 ・現代のようにスピード、効率化が求められる時代にあってはなかなかとつきにくいものであることも間違いないと思う。つどいスタッフとしてどのように取り入れていくか、もう一歩積極的に考えてみたいと思った。

「新型コロナ感染防止対策について」



2020年8月 (特) 子ども劇場千葉県センター

0.1.2.3 歳児とその親のためのワーク&舞台上演実施にあたり、新型コロナ感染防止について、子ども劇場千葉県センターの考え方と、演技者と共に行う具体的対策・できることについて以下のように記しました。

■ (特) 子ども劇場千葉県センターの考え方

感染防止については、100%の安全は保証できませんが、私たちができることはすべてやるということと、安全を高め安心の保証をしっかりとしておくという姿勢で臨みます。

そのために、事業実施の際には、主催者、スタッフ、演技者、親（施設の保育士等）と一緒に「こういう考え方でやろうね」と、事前の理解と共有を丁寧に行うことが大切だと考えています。親たちが過度な緊張感をもたないように、「リラックスして楽しんでください」というやさしい対応や雰囲気も心がけます。

■ 打合せでは十分なヒアリングと意見交換を行います

当団体や演技者の感染防止対策をお伝えし、実施施設の現状や対策、意向、心配なことを十分お聴きします。相談や打合せを丁寧に行い、実施内容を確認します。

実施当日は、親たちがわが子の動きに敏感になることが考えられます。このワークでは、0歳～3歳は自由に動き回るのを、動くそばから止めることは控えます。うれしさの余り突進してくることがあっても上手に対応します。そういうハプニング的なことはあり得ることも予測し、演技者・スタッフが丁寧にメッセージを伝え、親子が安心して楽しめるようにします。

■ スタッフ・演技者の感染対策 安心につながる対応

- ①手洗い、うがい、マスク着用、大きな声や必要以外の会話を控える、小道具等の消毒、配布物の手渡しは避ける等、基本的な感染防止はしっかりと行います。
- ②当団体のスタッフ及び演技者は、実施14日前から健康チェックシートにて健康チェックをし、実施日に責任者が全員の健康を確認します。必要に応じて実施施設への提出もいたします。（体温測定 発熱、倦怠感、頭痛、咳、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、腹痛、下痢、嘔吐、味覚・臭覚異変の11項目チェック）
- ③三密を避けるため・ある程度の空間をつくるために、会場の広さによって募集参加者数を決めます。窓を開け放って行い、必要に応じ扇風機等も使用します。それでも換気が十分でない場合は、簡易なサーキュレーターの持ち込みが可能です。演技者と参加者の距離を保ち、実施施設的环境下で、最善の工夫と対応をします。
- ④実施当日は、スタッフ・演技者共に洗濯した着替え（上下服と靴下）を持参し、会場にて着替えます。
- ⑤施設の要望やガイドラインに添って行動します。（入口での体温検査、訪問記録、アルコール消毒等、施設が決めた事項）
- ⑥当日は参加した親たちへ、安心して楽しい時間にするための協力をお願い等、配布物を置いておきます。演技者からもひとこと協力のメッセージもします。

実施施設：コミュニティー長柄

プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：コミュニティー長柄養育室

実施日時：2020年8月13日(木) 10:00～11:00 (年齢別で2回実施)

参加者数：総数 40人

①乳幼児 18人(0歳：5人(1カ月1人 2カ月2人 5カ月1人 6カ月1人)
1歳：2人 2歳：9人 3才と4才：2人)

②大人延べ 22人(保育士：18人 看護師：1人 施設長：1人 実習生：2人)

スタッフ数：パフォーマー (大沢 愛)

コーディネーター・スタッフ 4人(桑原信子 白鳥みゆき 中村雪江 鈴木佳子)

☆プログラム内容

1回目(乳児～1歳児)「てんこてんこてんこ」「にぎにぎにぎ」「〇〇ちゃん、は～い。おとしは〇歳」「ちっち」「ぎっこんばったん」「ねむのき」(手袋を使って)

2回目(1歳児～3.4歳児)

「ちっち」「うまおとし」「てっぺのねずみ」「ぎっこんばったん」「たっぴよぴよ」「みえたみえた」(またのぞき)「かごかご十六もん」「どんぶかっか」「ふくすけさん」 見る時間、聞く時間「わたろわたろ」(大布を使って)「夏の海」(オーシャンドラムの音を聞いて)

☆当日の様子

1回目：乳児人に対してわらべうたをうたう。大沢愛さんの静かで落ち着いたささやくような歌声が会場に響く。乳児は保育士さんにひとりひとりお膝の中で安心してわらべうたを聞いている。よく見ている。膝を立てたりのぼしたり変化がある動作には楽しそうに笑っている。20分の時間はゆったりと流れた。1カ月と2カ月の乳児は心地よくて寝てしまった。

2回目：幼児12人に対してのわらべうた。子どもひとり保育士さんひとりのペア。会場に丸く座って子どもも保育士さんにもこにこして楽しんでいる。だっこしながら「かごかごじゅうろくもん～」のわらべうたではどぼんでしゃがみ込む。最後までどぼんかそうじゃないかがわからないゲームのような変化があるうたに「きゃっきゃ」声を出して喜んでいて。何度も繰り返して「もういっぱい」と子どもから声が出た。

「わたろわたろ」ではおおきな虹色の薄い布の下にみんな寝転んで、ゆったり。気持ちよさそうに寝転んで、布をつかまえに行く子どもはいない。オーシャンドラムの波の音も静かに時間が流れていく。

☆保育士からの声(子どもの表情 成長発達 愛着形成の観点から)

・大人の声のトーン、変化に応じ、子どもの表情が変化するのを感じました。月齢をとわず、楽しんでいると感じました。0歳児を抱っこし、参加させていただきましたが、はじめは音に興味を持つ姿があり、リズムに合わせて、大人が体をゆらすうちに、心地良かったのか、入眠する姿がみられました。

・最初は表情がかたく、初対面の人の様子を伺っていた。わらべうたや手遊びが始まると表情がやわらぎ、じっと見つめる姿がみられる。養育者の膝の上で上下に動く笑顔がみられ、終わるともっとやって欲しいと自分の身体を上下に動かす姿がみられる。

・聞く力、見る力、集中力が養われる。歌あそびや、やわらかい歌い方で動作が穏やかになる。歌詞を覚えてみようとしたり、動作を模倣したりすることで学びの芽生えと身体と育ちを促す。

・同じ音色を聞き、口ずさんだり、一緒に歌ったりしながら子どもと触れ合いながら遊べるので、養育者と子どもの間で親しみを強く感じるができると思います。養育者が子どもへの愛情を改めて感じるのことができる場になりました。

(コーディネーター:桑原信子)

実施施設：市川市 新浜親子つどいの広場

プログラム名：「ゆったり のんびり わらべうたあそび」



実施場所：市川市新浜親子つどいの広場

実施日時：2020年 9月16日(水) ① 10:30~11:15 ②14:00~14:45

参加者数：総数 31人

①乳幼児12人(1回目：0歳児6人：4ヵ月1人、5ヵ月2人、9ヵ月1人、11ヵ月2人)

2回目：1歳児6人(11ヵ月2人 12ヶ月2人 1年2ヵ月1人 1年9ヵ月1人)

②大人 19人(保護者 12人 施設職員 6人 行政 1人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(山の音楽舎 川中美樹)

コーディネーター・スタッフ4人(買場都明 宇野京子 岡田泰子 大森智恵子)

☆プログラム内容

大人のお手玉でみんなを待つ(「じゃこかい」「とんやれ」)「てんこ てんこ てんこ～」「にぎにぎにぎ」「てんち てんち てんち」「ちよっつ ちよっつ ちよっつ」「両手をあげて～」元気がいい時は手を高く上げる。足の上に乗せて「うさぎピョンピョン」抱っこで立って「えっさっさー 行ってきましょ」ちよっと歩く。「去年のややと」見せ合ってばあ～ ミニシアター「十五夜おつきさん」足の上に乗せて「おうまどしどし・・〇〇ちゃんもつよい」「焼き芋ごーろごろ」はいはい・・・まてまてー と追いかける

☆当日の様子

ママたちは説明にうなづきながら、我が子と目を合わせながらわらべうたを真剣にやっていた。赤ちゃんもママの表情を見ながらにこっとした。思わずママも満面の笑みになる。うさぎぴよんぴよんうれしそう。ポロンと音が鳴ると、みんながミニシアターに注目し、赤ちゃんもジーンと見ていてびっくり。家でひたすら「あぶー」とやっていたいと、ママが言っていた。トンボは、川中さんの動きをじっと見て目で追う。トンボを持った川中さんが近づくと、顔を見てニコニコ笑う。ハイハイの子を、まてまてー、と追いかけると嬉しそうに逃げた。立って、ばあーと顔を見せ合いっこすると、ケタケタと嬉しそうに笑った。

赤とんぼに手をのばして触りたがった。まねをして指をたてて、ママもそれを見てびっくり。ミニシアターでは、赤ちゃんが距離があっても、小さな人形の動きを食い入るように見つめる。耳も、目も、体がぐっとそちらに引きつけられている。始まるとしーんとなつてずーっと集中していて、赤ちゃんのもつ力に驚いた。

☆保護者からの声(子どもの表情 成長発達 愛着形成 自分自身のこと)

- ・よくわらっていた3 じーっとみていた7 みとれていた2 興味をもった7
- ・よく笑う。まねしたいことはすぐまねする。歌が聞こえると、とても集中する。ふだんは人見知りが多いけど、「ばあ」とされて喜んでた。トンボの歌の時、指の動きをまねしていておどろいた。
- ・家では、おもちゃで遊ぶばかりだったが、わらべうたもまだ必要な年齢なんだと思った。
- ・たのしかった10 いやされた8 うれしかった3 安心できた1 ほっとした3
- ・またみたい・みせたい12人(100%)時間もちょうど良かったです。
- ・マスク無しで、参加できるようになる日が早く来ますように～色々工夫してくださってありがとうございます。
- ・今回参加して良かったです。おうちでも子どもにやってみたくと思います。わらべうたにふれあう機会がありませんので、よい時間を過ごせました!!
- ・わらべうたの他に育児の話もあり、とても勉強になりました。コロナでこのような機会が全くないので大変ありがたかったです。

(コーディネーター 買場都明)



実施場所：横芝光町 子育て支援センター横芝

実施日時：2020年10月27日(火) 10:20 ~ 11:00

参加者数：総数 47人

① 乳幼児 22人(0歳:6人 1歳:7人 2歳:9人)

② 大人 25人(保護者:20 保育士:2人 保健師:2人 施設関係者:1人)

スタッフ数：パフォーマー2人(人形劇団ののはな 納富敏郎 納富祥子)

コーディネーター・スタッフ4人(中川香子 綿貫のぼら 中村雪江 滝口淳子)

☆プログラム内容

- ・しろくまくん ・ウレタンロボット ・紙封筒のかえるくん ・スポンジ人形 くねくね
- でんでんむし ・紙コップで遊ぼう

☆当日の様子

いつも来ている場所のせいか子どもたちに緊張感はない。友だちの後を追ったり、床に畳を敷いた親子席にゆったりと座りママたちはおしゃべりしたりといつものひと時の様子。待っている時間もみな落ち着いている。

オルゴールの音楽が聞こえ、人形劇の始まりを知らせた。一瞬静かになり子どもたちはママのお膝に戻ってきた。「しろくまくん」が登場すると「あれ、くましゃーん」と笑顔で答えてくれた。ウレタンロボットが動き始めると男の達はお膝から下りて覗き込む。少し飽きてきたらしい男の子は畳にゴロゴロしながら見ている。紙封筒の「カエルくん」がはねるとみんな一斉に「びよーん！」とジャンプするように動いた。「お尻の穴からミミズが出てきた！」と納富さんがいうと「わはは！」と大きな声でにぎやかな声で笑う。人参を食べる、出てきたのは大根の絵 「人参が大根になりましたー！」と納富さんがいうとばちばちと子どもたちから拍手。一番前の席で身じろぎもしないで見ていた子どもたちがたくさん、あっという間の楽しい時間はおわりました。

☆保護者からの声(子どもの様子 表情 自分自身)

- ・よくみてわらっていた6人 じーっとみていた13人 あきたようだ3人 まねをしていた3人
- みとれていた4人 興味をもった7人
- ・集中して見ている様子。こんなに集中した表情は初めてでした。
- ・はじめての人形劇でしたが、楽しそうにみていました。・定期的に開催してほしい。
- ・お腹の中の子も始まってからおわるまでずっと、ぐねんぐねん動いていて楽しそうでした。
- ・たのしかった11人 いやされた8人 うれしかった8人 安心できた4人 ほっとした3人
- つかれた1人 気が気ではなかった2人

施設関係者からの声(親子の様子 愛着形成)

- ・母親の膝に座って見ている方が多く、ゆっくりと親子で触れ合える時間となった。
- ・親子の笑顔等が心にひびきました。
- ・参加した親子のいつも以上に輝いた日、楽しそうな笑顔、引き付けられて集中している姿に嬉しく思いました。
- ・0才児でも「集中して長時間見ていることができる」ということを学んだ。

(コーディネーター 中川香子)

実施施設：茂原市保健センター

プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：茂原市保健センター

実施日時：2020年 11月 4日（水） 11:00 ～ 12:10

参加者数：総数 43人

①乳幼児 20人（3か月～11か月：20人）

②大人 23人（保護者：20人 施設関係者：3人）

スタッフ数：パフォーマー 1人（大沢 愛）

コーディネーター・スタッフ4人（白鳥みゆき 綿貫のぼら 中村雪江 買場都明）

☆プログラム内容

「ちっちちち」「てんこてんこて～ん」「にぎにぎにぎ」「ぎっこんぱったん」「てつてのねずみ」「十六もん」「おつきさま」 鐘の音 「サヨナラあんころ餅」

☆当日の様子

3～6か月児グループ

- ・マットの上に寝ている子が多いが手をばたばたさせたり、ママが話しかけている。途中眠くなったのかぐずり始める子が多かった。

7か月児グループ

- ・月齢が高くなったのでお座りができる子が多い。背中に天使の羽がついたお洋服を着た男の子目がぱっちり。じーっと周りの人を見ている。赤ちゃんどうし隣の子を見合っている。触ろうとして手が出る。周りの子に興味が出ている。愛さんが「てんてこ」をやり、ママと一緒にやるとママの手をじーっとみて、ママの手を取る。「どぼーん」のわらべうたの動きが楽しくなったようでやるたびに笑顔がいっぱい出ている。だんだん慣れてくるとお座りからうつぶせになり、寝返りをしながらハイハイのポーズになる。お尻を持ち上げ愛さん方へ向かう。鐘の音が「ちーん」となると一瞬静かになる

8～11か月児

- ・お部屋の入ってくると、ママたちが「何か月？」と会話し始める。離乳食の事や体のことなど情報交換タイムになる。「ちょうちょ」のわらべうた ママがやってくれると「きゃー！」と声を出して笑う。ママのわらべうたよりも、隣や周りの子が気になる子がいっぱい 3人で集まった赤ちゃんが話し合っているかのように輪になってお互いを観察している。ママのわらべうたにすごく声を出して反応する子が多い。愛さんの方へハイハイで行く男の子が途中でママを振り返る。

☆保護者からの声(子どもの様子 表情 自分自身のこと)

- ・よくわらっていた6人 じーっとみていた15人 あきたようだ1人 まねをしていた1人
みとれていた4人 興味をもった6人
- ・手を良くうごかしていた。 ・動く手にすごく興味をもって泣きやんでました。 ・ママの手遊びに、自分の手を一緒にしてきた。丸い月を目で追っていた。 ・音の鳴った方をじーっと見る。他の子どもたちに興味を持っていた。
- ・たのしかった14人 いやされた13人 安心できた2人 ほっとした6人 つかれた1人
- ・ゆったりとした歌で、気持ちがおちつきました。また見たいです。(多数)
- ・また見たいです。子どもにも。20分あっという間だったので、もう少し長くやりたかった。

(コーディネーター 白鳥みゆき)

実施施設：市原市国分寺公民館

プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：市原市 国分寺公民館

実施日時： 2020年 11月 10日（火）10：00 ～10：40

参加者数：総数 14人

①乳幼児 2人（0歳：1人 2歳：1人）

②大人 12人（保護者：2人 地域：10人）

スタッフ数：パフォーマー 1人（大沢 愛）

コーディネーター・スタッフ4人名前（中村雪江 岡田泰子 鈴木佳子 椎名好子）

☆プログラム内容

わらべうた ・てんこてんこてんこ ・ちっちちちちち ・うさぎうさぎ
・浅い川深い川 ・さよならあんころもち

☆当日の様子

講師は、あぐらをかいて低い姿勢で少し前かがみになり、赤ちゃんとも目が合うのを確かめてから、ゆっくり右手の人差し指を動かしながらわらべうたをうたいはじめた



- ・親子はじっとその姿を目で追いながら、ゆったりリラックスしてその場の空気感の中にはまっていた。二回目の「てんこてんこてんこ」をすると赤ちゃんがにっこりした。気付いたお母さんもうれしそうだった（4か月）
- ・最初、場の雰囲気になれないのか、男児はお母さんにだきついて泣いていた。お母さんが静かにだっこしていると、わらべうたの「浅い川 深い川」のどぼ～ん、のシーンでお母さんが高い高いから落とすと泣き止んで楽しそうに参加していた（2才6か月）
- ・終わってお気に入りの絵本を出してもらおうとごきげんになった（2才6か月）

☆保護者からの声（子どもの表情 成長発達 愛着形成 自分自身のこと）

- ・じーっとみていた 2人 あきたようだ 1人
- ・今日はきげんが悪く集中できませんでした（2才6か月）
- ・いやされた 1人 気が気ではなかった 1人
- ・泣き叫ぶので困りましたもう少しごきげんの時にきちんと見せたいです（2才6か月）
- ・「てんこてんこてんこ」を教えていただいたので、家でもやってみたいと思います。（4か月）

☆パフォーマーからコメント

- ・「目を合わせて見て、何回も何回もやってみてね。きっとまねしますよ！」とお母さんに伝えた。（お母さんが頷いていた）
- ・昔から伝わったあそびで、「目が見えてるな～ 耳も聞こえてるな～ 視線が合ってコミュニケーションがとれるな～」と成長を喜び合ったものです。

（コーディネーター 中村雪江）

実施施設：四街道市認定こども園四街道さつき幼稚園

プログラム名：「ゆったり のんびり わらべうた」



実施場所：四街道市 さつき幼稚園遊び場りんごルーム

実施日時：2020年 11月 18日（水） 10：20～11：00

参加者数：総数 15人

①乳幼児 5人（0歳児（9カ月）：1人（10カ月）：1人 1歳児：3人）

②大人 10人（保護者 5人 施設職員（保育士） 5人）

スタッフ数：パフォーマー 1人（山の音楽舎 川中美樹）

コーディネーター・スタッフ 4人（椎名好子 鈴木佳子 中村雪江 滝口淳子）

☆プログラム内容

「うんこ～」 「あぶ～」唇の筋トレ、「あわわわわわ～」 「れ～ろ」 「てんこ てんこ てんこ～」 「にぎにぎにぎ」
「両手をあげて～ばんざ～い」 「1り2り3りしりしりしりしり」 おしりをちょちょよする、「じーかいてほん」 ふ
れあってあそぶ 「おうまどしどし・〇〇ちゃんもつよい」
「焼き芋ごーろごろ」 「ハイハイ まてまてー おいかっこ」 抱っこしながら歌に合わせて歩く
「十五夜おつきさん・赤とんぼこのゆびとまれ」 交流 みんなで感想・質問

☆当日の様子

- ・始まりの時、お手玉をしたが、初めてだといいいながらとても上手にできたお母さんが多く、川中さんに「上手、上手」とほめられてみんな嬉しそうだった。幼児たちはお母さんの顔をじーっと見ていた。まねてお手玉で遊び出す子もいた。
- ・川中さんの歌声をよく聞いている。じっと見る。だっこされながら顔をむけている。集中しているのがよくわかった。お母さんも子どももよく見ていた。1歳ぐらいの子でも美しい歌声と簡単な動きを静かな雰囲気を感じていた。
- ・川中さんが、ひとつひとつの動作や歌に意味があることを伝えていくとお母さんたちは話にならずに聞いていた。お母さんたちもとても穏やかに子どもたちと楽しんでた。 ・お月様が出てきたら、ニッコリ笑顔で見ている。 ・ハイハイもおいかっこをするのも、川中さんのさそいでよく動いている。
- ・待て待てとおいかけると、「あ、ああ～」と声をだしながらハイハイのスピードがあがった。

☆保護者からの声(子どもの様子 表情 自分自身のこと)

- ・よくわらっていた2人 じーっとみていた4人 興味をもった3人
- ・いつもよりも、ゆったりと話しかけたり、歌ったりしたこと子どももよく聞いていたようだった。
- ・目をたくさん合わせることができた。 ・大人の声も表情もよく見っていると改めて感じた。
- ・たのしかった4人 いやされた4人 うれしかった1人 安心できた2人 ほっとした3人
- ・また、みたい、見せたい。時間もちょうどよかったです。
- ・手を触るのを今日からやってみようと思いました。家でも歌ってみようと思います。

☆施設関係者からの声(成長発達 愛着形成の観点から)

- ・成長発達をふまえる大切さを改めて感じた。楽しみながら成長を促せるわらべうたは、奥が深い。
- ・お母さんの声、お母さんの身体を通して行われる全てが、愛おしい時間だと思う。

（コーディネーター 椎名 好子）

実施施設：千葉市 小中台公民館

プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：千葉市 小中台公民館和室

実施日時：2020年 12月 3日（木）1回目 10:00～10:40 2回目 11:00～11:40

参加者数：総数 29 人

①乳幼児 12人(0歳：6人 1歳：6人)

②大人 17人(保護者：11人 地域：6人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(大沢 愛)

コーディネーター・スタッフ4人(中村雪江 鈴木佳子 岡田泰子 滝口淳子)

☆プログラム内容

ちっちちち てっのねずみ ぎっこんばっこんちゃんころりん かごかご十六もん てんこてんこて
ーん じ〜かいてボン ○○ちゃーんハイ お風呂でのうた 金の音とかりかりわたれ さよならあ
んころ餅

☆当日の様子

初めて会うメンバーではなく、スタッフも顔見知りのためか、ママも子ども達リラックスして、穏やかな空気の中始まった。ちっちでは、お母さんの指の先を目で追って良く見ていた。ニコニコ楽しそうな顔だった。お母さんたちも子どもにやらせなくてはという気持ちではなく、子どもの様子を見ながら、自分が楽しんで穏やかな顔をしていた。

2人連れてきたお母さんも、一人はスタッフさんに抱いてもらい、上の子とも安心して楽しんでた。

「○○ちゃーん、ハイ」と愛さんが呼び掛けて手を挙げると、一緒に挙げている子がいた。「お年は1つ」では、じっと愛さんの指を見つめていた。

川に落ちる「ドボン」の時はキャッキョと笑ってとても楽しそうだった。何度もやりたそうやってくれるのを待っていた。愛さんから、「お母さんが手を取ってやらせたりしないでくださいね」「子どもは自分から必ずマネをしてやるようになります。大人が忍耐があるかもしれないけどね。大丈夫だからお母さんも楽しんで。」子どもがやらなくてどうしようという不安もすっかりとれた。

「ちっちちちち」を、終わってから急にやりだした1歳児、お母さんもうれしくみんなもびっくり驚いた。歩き回っていたけど、ちゃんと見て聞いていたんだね。0才児～1歳児の成長はすざましい。

「沢山覚えなくて良いんだよ。一つ二つで良いので、何かの折にやるのが大事。繰り返しが大事。」「お風呂入っている時に名前を読んであげるとかね。」愛さんのメッセージはシンプルでやさしい。

☆保護者からの声(わが子の様子 表情 自分自身)

- ・よくわらっていた4人 じ〜とみていた10人 まねをしていた5人 みとれていた2人 興味をもった2人。・ ゆっくりなうごき、やさしい声によく反応し、じ〜と動きをみていました。
- ・楽しかった6人 いやされた9人 うれしかった2人 安心できた4人 ほっとした5人
- ・1対1でゆっくり遊べたのでまたやりたい。時間もちょうどいい。また是非みたい。みせたい。
- ・カモメのゆったりした動きも親もみとれてしまい、家で作ってみたい。
- ・知らないわらべ歌がたくさんあって、わらべうたで子どもともっともつとあそびたい。

☆子育て支援スタッフからの声(保護者 愛着形成 成長発達の観点から)

- ・とても穏やかで集中し、お母さんを見つめるまなざしが可愛かった。アイコンタクト。
- ・今携帯で子育てする人も多い。0歳児からの成長や愛着形成の効果があるわらべうたを広めたい。

(コーディネーター 中村雪江)

実施施設：松戸市 おやこ DE 広場北小金

プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：松戸市 おやこ DE 広場北小金

実施日時：2020年 12月 24日（木） 13:00～13:40

参加者数：総数 12 人

①乳幼児 4人(7カ月：1人 8カ月2人 9カ月2人)

②大人 8人(保護者：4人 地域：4人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(大沢 愛)

コーディネーター・スタッフ4人(中村雪江 中村幸恵 岡田泰子 棚田純子)

☆プログラム内容

ちゅちゅちゅ てんこてんこてん にぎにぎ うんこ～ かごか十六文 布 指人形
さよならあんころ餅またきなこ ・交流（質問、感想を）ひとりずつ

☆当日の様子

「チッチッチ～」赤ちゃんと目と目、人差し指と目が合ったところで、ゆっくり歌いながら飛んでいるよううごき。「てんこ てんこ てんこ～」「にぎにぎにぎ」「うんこ～」お母さんにも「ゆっくり、毎日やってあげるといいですよ！」とかたりかけながら。「かごかご十六もん江戸から京まで三匁～ふかい川には～まった、あ～さい川には～まった、やっぱりふ～かい川にドボ～ン！」抱っこしながら歌に合わせて歩く大きいシフォンの布の4角をスタッフが持って、天井近くで親子を包み、フワリフワリと上下にあおる。じーっとみている。かわいい指人形、「さよならあんころもちまたきなこ」

全員が0歳児だったので、親子みんなが40分集中してゆったり、楽しそうに参加できていた。交流タイムに、「おぼえられないので、歌詞を書いたカードがあれば・・・」とママの声があった「たくさん種類やらなくても、『てんこてんこ』『にぎにぎ』『ちゅちゅ』を繰り返してやってあげるといいと思う」と大沢さんがなぜそうなのか、のコメントをつけながら回答されていた。

☆保護者からの声(わが子の様子 表情 自分自身)

- ・よくわらっていた 2人 じーっとみていた 4人 興味をもった 2人
- ・歌が始まった瞬間ずっと注目してびっくりした
- ・名前を呼ばれてニコニコしていて自分の名前がわかっているのかなと思った
- ・「かごかご～」は思わず眠くなってしまったようでした
- ・たのしかった 3人 いやされた 2人 うれしかった 1人 ほっとした2人
- ・ぜひまた参加したいです。家でも簡単なわらべうたをやってみようと思いました

☆子育て支援スタッフからの声(保護者 愛着形成 成長発達の観点から)

- ・大沢さんの声かけが始まるとお子さんたちが集中して見つめ、ぐずっていた子もピタッと止まっていた
- ・ママたちもだんだん笑顔に。お子さんの反応を喜び、子どもに教えたい、やってみたいという思いがあった。
- ・ママとのふれあい遊び、目と目をみつめあっている様子があり、心地よさそうだった。
- ・ひろばの中でもこのような静かな時間があるとよいのかも・・・

(コーディネーター 中村幸恵)

実施施設：君津市 八重原公民館

プログラム名：「歌子さんの初めてのコンサート」



実施場所：君津市 八重原公民館

実施日時：2020年 12月 26日（土） 10：30～11：15

参加者数：総数 20人

①乳幼児 7人（0歳：4人 1歳：2人 2歳：1人）

②大人 13人（保護者：10人（うちパパ3人） 施設職員3人）

スタッフ数：パフォーマー 2人（歌子さん ぴんたろー）

コーディネーター・スタッフ4人（宇野京子 買場都明 白鳥みゆき 中村雪江）

☆プログラム内容

- ・太鼓でお出迎え、1人1人に太鼓の振動体験 ・「うたこです」「みんなのお名前おしえて」「赤い鼻のトナカイ」「サンタが街にやってくる」 ・絵本「あめふりくまのこ」と歌「大工のきつつきさん」
- ・「ほっぺにチュ」「シャボン玉」・じゃらじゃら楽器を鳴らしたり動かしながら赤ちゃん語でおしゃべり
- ・太鼓ごろごろ ・みんなで立って「金太郎」「ゆりかごのうた」

☆当日の様子

「赤い鼻のトナカイ」「サンタが街にやってくる」等、クリスマスの歌で始まり、歌子さんの動きをじーっとよく見ていて、赤い鼻のトナカイの歌では、リズムにのってうたと一緒にゆれていた。大工のきつつきさんは、ホルディアーと手遊びや、ホー、ばさー、ギョギョ等大きな動きを親子で繰り返して楽しんでいた。

ぴんたろーさんのわけのわからない赤ちゃん語は、会場を笑いに誘い、それにこたえて声を出している子がいた。指さしたりして、よく見ていた。ぴんたろーさんはどこでも子どもたちの人気者。楽器が上下に揺れると、それに合わせて親子の体が縦揺れしていた。

外に行くとあまり声を出したりしないのに、今日は声を出していた。とお母さん。同じ7か月同士で互いにみあったりして、通じ合っていた。赤ちゃん同士同じ世代、仲間だっておもえるのかもしれないね、とお母さん同士でも顔を見合わせて話し、会場全体が和やかだった。

☆保護者からの声(わが子の様子 表情 自分自身)

- ・よくわらっていた4人 じーっとみていた7人 まねをしていた1人(8か月) みとれていた1人 (8か月) 興味をもった6人
- ・歌やたいこの音を聞き、よく声を出し、同じくらいの子にとっても興味を持っていました。
- ・たいこに合わせて足をぴよんぴよんさせていた。・不思議そうに凝視していた。
- ・たのしかった7人 いやされた7人 うれしかった5人 安心できた2人 ほっとした2人

☆子育て支援スタッフからの声(保護者 愛着形成 成長発達の観点から)

- ・名前を最初に呼んでもらえてうれしそうだった。0才でも自分の名前はわかってる。反応していた。
- ・おかあさんも揺れて自然とうたいたくなっていた。お子さんの反応を見て楽しんでいた。
- ・コロナがなかったら、歌子さんももっと会場を動けるし、楽器もできるのにと、残念。

(コーディネーター 宇野京子)



実施場所：千葉市 子育て支援ステーションニッセ

実施日時： 2021年 3月 21日(日) 10:15~11:00 13:15~14:00

参加者数：総数 37人

①乳幼児 17人(0歳：5人 1歳：3人 2歳：4人 3歳：3人 3歳以上：2人)

②大人 20人(保護者：18人 施設職員：2人)

スタッフ数：パフォーマー 2人(歌子さん ぴんたろー)

コーディネーター・スタッフ4人(中村雪江 滝口淳子 買場都明 鈴木佳子)

☆プログラム内容

・太鼓でお出迎え スイング・「うたこです」「みんなのお名前おしえて」・「しゃぼんだま」・歌の絵本「あめふりくまのこ」「お花がわらった」・「ほっぺにチュ」・ぴんたろーのお話タイムと楽器あそび ・みんなでジャンプ「金太郎」・ママの最高の子守歌「ゆりかご」・楽器あそびと交流コーナー

☆当日の様子

自然にゆるゆると始まり、一人のお父さんにマラカスを渡し、ギターの軽妙なリズムで皆が揺れ始める。子ども達もママパパのお膝の中で、スイングスイング。マラカスのお父さんの子がパパの活躍ぶりに大興奮。歌子さんの明るいおびやかな歌声が重なり会場との掛け合いに。初めは小さな声がだんだん膨らんで最後は二重唱。思わずみんな一生懸命歌っていた。お母さんたちの顔も体も一気にリラックス。名前を呼ばれ歌いかけられると、ママの胸に顔をうずめていた子がハッと振り向いて歌子さんをじっと見つめる、照れて下を向く子、手を振り返そうとする子、それぞれの違いがステキだ。ママ達と一緒に歌う「しゃぼんだま」で抱っここの0歳児が「えー、えー」と声をあげ自分で体をゆすっている。歌の紙芝居では、1番前にとことこ出て来た1歳児がずーと最後まで、身動きしないで、吸い込まれるように見入る。ぴんたろーが打楽器を打ち鳴らし、へんてこ言葉で語り始めるとママから離れなかった子も思わずクスッ。子どもも大人も興味津々でマネしたくなる。楽器あそびの時間は、子ども達が自分で遊びたいと思いつつ自分から変わるの待つ。一人一人が変化していく。「金太郎」の軽快な曲。立ち上がってジャンプ。お祭りのような大興奮で終わると、大人も子どもも息を切らせながら大満足し、遊びきった心地よさで顔が輝やいている。抱っここの赤ちゃんは、嬉しさ満開の笑顔。最後に歌子さんから「最高の子守歌を歌うのはパパママ。歌は愛を伝える最高の道具。」カリンバの柔らかい響きに導かれ「ゆりかご」を歌う。ゆったり揺れながら、ママやパパの声も体もゆりかごになっていた。

☆保護者からの声(わが子の様子 表情 自分自身)

- ・よく笑っていた2人 じっとみていた6人 まねをしていた2人 みとれていた2人 興味をもった9人
- ・興味津々で楽器に近づいて手に取り、触って音をだした。 ・耳を澄まして聴いていた
- ・たのしかった8人 いやされた8人 うれしかった4人 安心できた3人 ほっとした3人
- ・久しぶりに友達にも会えてリフレッシュできた。・子どもの様子が見られ心が開放された。ステージと客席が近く居心地がよかった。・下の子はすっかり安心して眠ってしまった。・日々の忙しさを忘れとても癒された。

☆子育て支援スタッフからの声(保護者 愛着形成 成長発達の観点から)

- ・ご夫婦での参加も多く、リラックスして笑い声も上がった。音の響きを体験できてよかった。
- ・歌子さんは子どものペースを大事にしていた。ママたちが安心してると、子どもたちも落ちついてみる。ママやパパの膝を離れたりと、また戻ったりと愛着がなされている様子が愛おしい。

(コーディネーター 中村雪江)

「0歳～3歳児とその親との愛着を深めるアート・ふれあい・交流事業」
報告書

発行日：2021年 3月 22日（月）

発行者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6

サンコート新千葉 102号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

メールアドレス：kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします



主催：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-Mail: kidchiba@lily.ocn.ne.jp <http://chiba.gekijou.org/>